

# JR九州連合情報

## JRグループ労組連絡会

# 第19回分科会プロジェクト

JRグループ労組連絡会（JR連合）は12月8日、2023春季生活闘争方針や至近の経営状況等に関する意見交換を行うため、大阪市内で「第19回分科会プロジェクト」を開催した。JR連合に集うグループ労組の代表者が参加し、JR九州連合からも幹事会メンバーを中心に12人が参加した。

冒頭、JRグループ労組連絡会を代表して挨拶した奥村敬弥代表幹事（JR東海連合・東海交通事業労組）は「国内では物価上昇が止まらず、私たちの生活のために賃上げは欠かせない。私たちは労働組合の責任として、要求すべきことはしっかり要求していこう。難局の時代だからこそ一丸となって環境の変化に対応していこう。本日の分科会別討議に積極的な参画を要請するとともに本日の議論が、2023春闘勝利に向けての足がかりとなることを期待する」と述べた。

討議では、①工務、②運輸（整備）③運輸（車両・機械）④運輸（駅委託）⑤陸運、⑥物販、⑦ホテル、⑧一般と業種毎に8つの分科会に分かれ「会社の経営状況や雇用情勢」「2023春季生活闘争方針の策定」等のテーマで意見交換を行った。



奥村代表幹事の挨拶に耳を傾ける参加者

討議後は、JR九州連合の村中隆一副会長が一般分科会の報告を行うなど分科会ごとに2023春闘への決意が表明された。

最後に、討議の結果報告を受けた鎗光俊勝事務局長（JR連合労働政策局長）が「グループ労組連絡会としての意見は概ねまとまった。各社の業績に応じて、更に高いレベルを要求できる単組は求めて欲しい。今日の意見を2023春闘方針作成の補強とさせていただく。」と総括し、奥村代表幹事が改めて「私たちが2023春闘を盛り上げていこう。各社労使で議論を尽くして、各社の魅力を取り戻そう。そうすることが、JRグループ全体の魅力を取り戻すことに繋がる」と締めくくり、プロジェクトは閉会した。



一般分科会の報告を行う村中副会長

## JR連合ふれあいキャンペーン JR九州ステーションホテル小倉

JR連合・JR九州連合では、加盟組合の会社が運営している施設や店舗を紹介して利用促進を促し、働いている仲間を応援するキャンペーンを実施中です。全組合員一丸となってコロナによる経営危機を克服しよう！

JR九州ステーションホテル小倉では、おせちの予約を受付中です。締切が迫っていますので予約はお早めに！



厳選した素材と、磨き抜かれた腕が織り成す伝統のおせち料理。

4人前も2人前もあるので  
家族の形に合わせて選べます★



JR九州ステーションホテル小倉  
総料理長監修

# おせち

ご予約承り中

※画像はJR九州ステーションホテル小倉HPより

詳しくはHPをご覧ください▶ [おせち料理お申込みのご案内](#)